

---

私たちは県立広島大学出身の学生です。  
みんなで一緒に質問に答えました。

---



**Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？**

助産師を目指していたので、助産学専攻科に進学したいと思っていました。本学の看護学科（現在はコース）に通っていた際、専攻科の先輩から、先生と学生の距離も近く、雰囲気も良く、主体的に学べると聞き、より魅力を感じました。現在は、コロナウイルス感染拡大の影響で制限されることが多いですが、先生方のサポートを受けながら主体的に学んでいます。

**Q 学生生活はどうか？**

10人中4人が一人暮らし、6人が実家から通っています。広島市内から通っている人は、片道2時間程度かかります。朝は早いですが生活リズムが整います。通学時間や電車の待ち時間を活用して課題をしているので、帰宅後や休日はゆっくりする時間も取れます！一人暮らしは朝ゆっくりでき、大学周辺にはスーパーやドラッグストア、飲食店などが揃っているため生活しやすいです。

**Q 受験勉強はどのようにしましたか？**

「病気がみえる」シリーズの産科と助産師国家試験の問題集をメインに勉強しました。8月頃から過去問（7年分くらい）にも取り組みました。母性の範囲だけではなく、小児疾患や予防接種、母子保健の統計、法律も過去に出題されていたので、その分野の勉強も重点的にしました。面接は、助産師になりたい気持ちを強く持ってアピールすることが一番だと思います。自習や国家試験勉強で大変ですが、頑張ってください。

**Q 4月からのオンライン授業はどうか？**

オンライン授業になったことで、通学時間を勉強時間に割り当てることができます。オンライン演習では、難しいこともありますが、先生方が私たちの学修がより深まるために配慮してくださるので、充実した学修ができています。

## Q これからの目標は？

周産期の女性だけでなく、すべてのライフサイクルの女性を支え、地域の母子保健の発展に貢献できる助産師になることが目標です。そのために、知識や技術だけでなく、豊かな人間力を身につけていきたいです。頑張ります！

---

私は他大学出身です。

他大学出身の仲間と一緒に質問に答えました。

---



## Q なぜ、県立広島大学の学部・学科に入学しましたか？

本学は、主体的に参加する授業が多く、積極的に行われている演習学習が魅力的だったからです。仲間と意見を交換しながら、根拠に基づいた助産ケアについて、楽しく学ぶことができると考えました。また、1年間で助産学を学び、早く臨床に出られることも魅力でした。

## Q 学生生活はどうですか？

実家から通っている人も大学周辺で一人暮らしをしている人もいます。学業優先のためアルバイトができないので、両親に出費の負担をしてもらっています。予想以上に課題が出ますが、グループワークが多いので、オンライン上で仲間と協力し合い取り組める楽しさもあります。

## Q 受験勉強はどのようにしましたか？

9月から本格的に勉強を始めました。「病気がみえる」や母性看護学の教科書を読み込み、母子保健・母子関連法規も頭に入れました。過去問（本学・他学）や助産師国試問題を過去5年分解き、実践練習を重ねました。問題を解きながら、わからなかった箇所を参考書や教科書で復習し、知識を詰めていきました。

**Q 大学内や周辺のおすすめスポットを教えてください。**

尾道駅と三原駅間の電車の窓から見える瀬戸内海がとても綺麗で、通学時のちょっとした楽しみです。学内のおすすめは「2220 講義室」から見える木々です。特に快晴だと、風に揺れる葉が光を受けキラキラと輝き美しいです。また大学周辺には、定食屋、ラーメン屋、お好み焼き屋など美味しいご飯屋が沢山あります。食べるのが好きなので、週末、ご褒美に外食するのが楽しみです。

**Q 4月からのオンライン授業はどうですか？**

通学時間が短いので時間に余裕があります。分娩介助練習セットを持ち帰り、自宅にあるもので工夫しながら練習をしています。先生方が、様々な角度から見られるようにカメラを工夫してくださり、対面に近い学習が可能となっています。

今は、妊婦健診等の演習もオンラインで行っていますが、今後、臨床現場でもオンラインでのやりとりが想定されるため、学生時代にオンライン授業があったからこそその経験や学びを生かしたいです。